



南中だより

令和6年11月5日発行

No. 14

沼田市立沼田南中学校

【学校教育目標(具体目標)】「英知」「礼節」「強健」

【自己を磨き、他に尽くす 尽くされたら感謝の気持ちを表そう】

学校運営協議会 (10月30日)

沼田市では、今年度より各小中学校に「学校運営協議会：コミュニティ・スクール」を設置して、地域とともにある学校づくりをより一層進めていくことになりました。学校では、子どもたちの「生きる力」をはぐくみ、健やかな成長を図るために、様々な教育活動に取り組んでいます。さらに、コミュニティ・スクールによって、沼田市のよさを生かした体験学習を広げ、郷土愛をはぐくんだり、地域と連携・協働し、ふるさとで学び、育てる環境を充実させたりすることを目指しています。本校では、年3回の学校運営協議会を実施して、協議委員さんと学校経営に関することや日頃感じていること、地域と協働して取り組めることなどを話し合っています。

今回は第2回目となり、協議委員さんからは、「すばらしい合唱だった。本番が楽しみ。」、「地域との活動に意欲的だ。」などの評価をいただきました。また、学校再編に関する意見をいただきましたのでお伝えします。

＜教育委員会が示した基本方針を踏まえての意見＞

- ・沼田市の出生数を考えると学校を維持していくのは難しいと思います。
- ・南中学校ができた経緯を知っているので、廃校になるのは反対です。
- ・人口減少が一番の問題。子供たちや若い人たちを移住者で増やしている地域もありますが、魅力を感じてもらうには難しい問題です。移住者も大切ですが、現在住んでいる人が住みやすい環境ができてくるといいですね。
- ・PTAの本部役員を決める場合には、人数が多い方がありがたいです。
- ・学校再編に向けて一番大切なのは、子供たちの意見だと思います。統廃合ありきでなく、子供たちが生活する中で達成感を得られることを大切にしてほしいです。

南稜祭 感動の嵐！ (11月1日)



スローガン「Be the best～伝説と書いて俺たちと読む～」を掲げて南稜祭を開催しました。実行委員や合唱委員を中心に皆で協力し、企画したり運営を行ったりしながら創り上げてくれました。午前中のステージ発表は、吹奏楽部の演奏からスタートしましたが、校外に出て経験を積んでいるだけあって、人を惹き付ける見事な演奏やパフォーマンスでした。続いて英語スピーチ発表。市内で表彰された2人は、日本語のように堂々と話していて、これからのグローバル社会を活躍していく姿だと感じました。次に生徒会企画。8組がエントリーしてバラエティーに富んだステージ発表を披露してくれました。日常の学校生活では見られない一面を垣間見ることができました。

午後は合唱コンクールでした。前号に掲載したとおり音楽の時間はもちろんのこと、朝、昼休み、放課後と練習に励み、追い込んでいる様子がよく伝わってきました。そして、迎えた本番。どの学級もそれぞれの歌詞に思いを乗せて心をひとつにして、声が重なり合う音色の美しさを表現してくれました。保護者の方々や地域の皆様と「心が震える感動」を共有できてよかったと思います。生徒たちも達成感を得ることができました。大変ありがとうございました。



吹奏楽部の演奏



生徒会企画発表



全校合唱